

# 日本天文学会 1987年 秋季年会

## プログラム

月 日 昭和62年 10月 19日(月)~21日(水)

場 所 北大学術交流会館: 〒060 札幌市北区北8条西5丁目 電話 011-758-5426

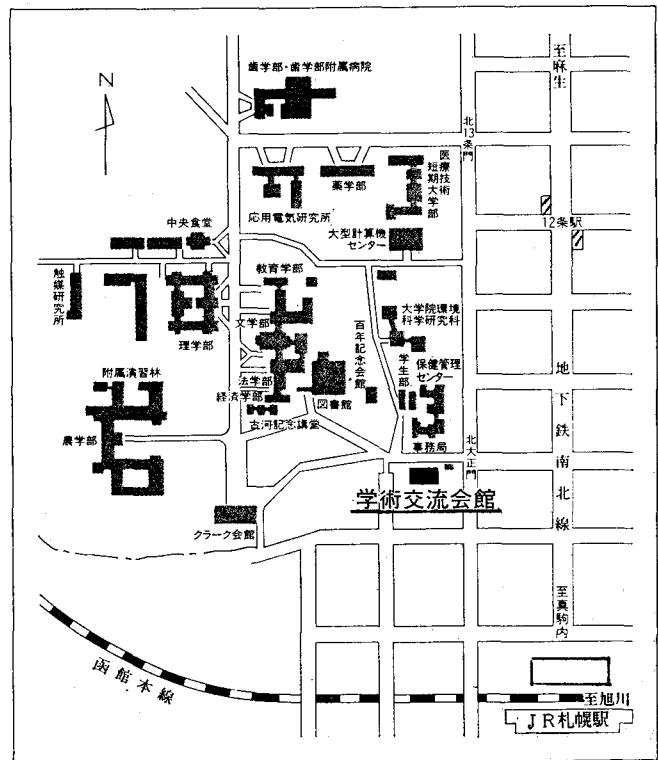
		午前 9時	10	11	12	午後 1	2	3	4	5	6時	講演番号
月 日	会場	分 野				分 野						
10月19日 (月)	A	我々の銀河系				評議員会	恒 星				天文台改組懇	A 1~36
	B	観測機器・情報処理					観測機器・情報処理, 宇宙論					B 1~37
10月20日 (火)	A	恒 星		ポスター ディスカ ッション	内地留学 奨励会	恒星, 高エネルギー天文学, 星間現象				懇親会	A 37~71	
	B	宇宙論, 銀河・銀河団				銀河・銀河団					B 38~73	
10月21日 (水)	A	星間現象				理事會	星間現象				ポ ス ト デ ッ ト ド ラ イ ン	A 72~108
	B	位置天文, 天体力学, 太陽系					太陽系, 太陽					B 74~107

会場 A: 2階大講堂, 会場 B: 1階小講堂

1. 講演割当時間は7分です。
2. ポスターセッション用に1階ロビーを用意しました。このセッションへ割当てられた講演数は21で、該当する方へは案内書を送りました。なお第2日午前11時からポスター講演のためのディスカッション用時間帯を設けました。
3. Post dead-line papers 用に第3日午後通常講演終了後のB会場を(数によっては、A会場も)確保しました。
4. スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
5. 前回につづき、10月19日(月)17時より東京天文台改組に関する懇談会(庶務理事主催)を開催します。

### 秋季年会々場案内

1. 会場は、JR札幌駅から徒歩5分です。
2. 懇親会は、第2日午後6時から東区北6条東9丁目のサッポロビール園で行います。年会々場から送迎バスが出ます。



## 会場 A (二階大講堂)

## 第1日 10月19日(月) 午前10時より 会場 A

- A 1 銀河系中心分子リングの構造と運動: 海部宣男<sup>1</sup>, 林 正彦<sup>2</sup>, 稲谷順司<sup>1</sup>, Ian Gatley<sup>3</sup> (<sup>1</sup>東京天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>NOAO)
- A 2 炭素星のサーベイ: 前原英夫, 征矢野隆夫 (東京天文台)
- A 3 オリオン座 (木曾天域 0904) の輝線天体: 小暮智一 (京大理), S. D. Wiramihardja (ボスカ天文台), 吉田重臣 (京大理), 仲野 誠 (大分大教育), 小倉勝男 (国学院大)
- A 4 星の光度関数の最も暗い部分について: 石田恵一 (東京天文台), R. S. Stobie (エジンバラ天文台)
- A 5 近赤外銀河光と銀河モデル: 秋葉 誠, 松本敏雄, 村上 浩 (名大理)
- A 6 自己重力銀河ガスのN体数値実験 (銀河衝撃波の形成): 福長正考, 土佐 誠 (東北大理)
- A 7 巨大分子雲と渦状腕による恒星系の力学的進化 II: 安富 允, 藤本光昭 (名大理)
- A 8 巨大分子雲と星の重力相互作用 (3次元): 藤本光昭, 安富 允 (名大理)
- A 9 外場中での回転体の運動: 立松芳典, 藤本光昭 (名大理)
- A 10 恒星系力学に対する一般変分原理: 稲垣省五 (京大理, IOA, Cambridge), D. Lynden-Bell (IOA, Cambridge)
- A 11 重力多体回転系における角運動量輸送: 秋山和英 (東大理), 杉本大一郎 (東大教養)
- A 12 銀河系の自己重力系モデル: 横尾武夫 (大阪教育大)

## 第1日 10月19日(月) 午後1時より 会場 A

- A 13 湧き出し・吸い込みを持つ大気の構造: 成相恭二 (東京天文台)
- A 14 恒星スペクトル有効形成層の深さの解析法について (そのII): 伊藤 胖 (秋田大教育)
- A 15 シリウスとベガの水銀 (Hg) 量: 定金晃三 (大阪教育大), 比田井昌英 (東海大), 寿岳 潤 (東京天文台)
- A 16 炭素星 V778 Cyg における水メーザの検出: 中田好一, 泉浦秀行, 尾中 敬, 橋本 修 (東大理), 浮田信治, 出口修至 (東京天文台野辺山), 田辺俊彦 (東京天文台)
- A 17 炭素星の HCN 輝線観測: 泉浦秀行 (東大理), 辻 隆 (東京天文台), 浮田信治, 海部宣男 (東京天文台野辺山), 海野和三郎, 小山晃一 (近大理工総研)
- A 18 赤色巨星における Super Metallicity: 銀河系バルジ及び太陽近傍のM型巨星: 辻 隆 (東京天文台)
- A 19 早期型星  $\zeta$  Oph の線輪郭変化 (HeI 6678) について: 神戸栄治 (東大理), 安藤祐康, 家 正則 (東京天文台), 平田龍幸 (京大理)
- A 20 Nova Andromedae 1986 の測光・偏光観測: 菊池 仙, 近藤雅之, 三上良孝 (東京天文台)
- A 21 定常的な質量放出と惑星状星雲の形成: 加藤万里子 (慶応大)
- A 22 脈動変光星のモデル振動子: 田中靖夫 (茨城大教育), 竹内 峯 (東北大理)
- A 23 微分回転する星の振動的対流モード II: 李 宇珉 (東大理)
- A 24 ヘリウム星の脈動について: 斉尾英行 (東大理)

## 休 憩

- A 25 白色矮星の星震学: g-mode 振動の逆問題: 柴橋博資, 関井 隆 (東大理)
- A 26 セファイド模型における He 量の効果: 石田俊人, 竹内 峯 (東北大理)
- A 27 PDM 法による  $\zeta$  Gem の周期変動の解析: 斉藤昌也 (東北大理)
- A 28 脈動星の流体模型に現れる間欠カオス: 相川利樹 (東北学院大工)
- A 29 相対論的な星の固有振動: 小鳥康史 (京大理)
- A 30 対流核からの音波放射について: 近藤正明 (専修大)
- A 31 回転星における局所対流理論の見直し: 安藤裕康 (東京天文台)
- A 32 自己重力回転流体の相対論的定常解: 小松秀実 (東大理), 江里口良治 (東大教養), 蜂巢 泉 (京大工)
- A 33 半分離連星系中の質量エネルギー輸送 (II): 木口勝義, 海野和三郎 (近大理工総研), 北村正利 (東京天文台)
- A 34 ポリトロピック連星系の潮汐破壊: 長沢幹夫 (京大理)
- A 35 パルサー磁気圏の電場について——境界要素法による計算——: 柴田晋平 (山形大理)

## 会場 B (一階小講堂)

## 第 1 日 10 月 19 日 (月) 午前 10 時より 会場 B

- B 1 西太平洋大型電波干渉計建設計画: 川口則幸, 吉野泰造 (電波研鹿島), 高橋富士信 (電波研), 土屋清実 (電波研鹿島)
- B 2 西太平洋大型電波干渉計用アンテナ: 栗原則幸, 雨谷 純, 木内 等, 沢田史武 (電波研鹿島)
- B 3 通信衛星による双方向時刻比較実験: 浦塚 誠, 森川容雄, 三木千紘, 今江理人, 高橋富士信 (電波研)
- B 4 運搬受信機による日豪時刻比較較正実験: 森川容雄, 三木千紘, 浦塚 誠, 今江理人, 高橋富士信 (電波研)
- B 5 電離層遅延補正用 GPS 2 周波受信機: 三木千紘, 今江理人, 浦塚 誠, 森川容雄, 高橋富士信 (電波研), 山崎俊雄 (東海大), 貴志かおり (東洋大)
- B 6 電波干渉計における 3 次元 clean 法——AIC を用いた clean component 数の推定——: 小林秀行<sup>1,2</sup>, 石黒正人<sup>1</sup>, 森田耕一郎<sup>1</sup>, 石黒真木夫<sup>3</sup> (<sup>1</sup>東京天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>統数研)
- B 7 NRO-AIPS の性能評価: 黒川彰久, 水本好彦, 本間節夫 (富士通), 前川 淳 (システムズ・デザイン(株)), 石黒正人 (東京天文台野辺山)
- B 8 ERIDANUS——NTT デジタル通信網によるデータ整約の星型ネットワーク: 近田義広 (東京天文台野辺山)
- B 9 干渉計による 22 GHz での点状電波源の強度測定: 高橋敏一, 森田耕一郎, 神沢富雄, 石黒正人 (東京天文台野辺山), 小林秀行 (東大理)
- B 10 広視野電波パトロールカメラの 2 次元化計画: 大師堂経明, 遊馬邦之 (早大教育, 理工), 西堀一彦, 井上修一郎, 小原啓義, 小松進一 (早大理工), 長根 潔
- B 11 4メートル短ミリ波望遠鏡制御系の改良: 河鱈公昭, 福井康雄, 小川英夫, 野澤悟徳 (名大理), 杉谷光司 (名市大)
- B 12 マイクロコンピュータを用いた名大 4 m 鏡用分光データ処理装置 II: 野澤悟徳, 河鱈公昭, 小川英夫, 福井康雄 (名大理), 杉谷光司 (名市大)

## 第 1 日 10 月 19 日 (月) 午後 1 時より 会場 B

- B 13 野辺山ミリ波干渉計用 10 m アンテナの改造: 石黒正人, 春日 隆, 稲谷順司 (東京天文台野辺山), 榊原修, 増田剛徳 (三菱電機)
- B 14 副鏡モニターによる指向補正システム (2): 中島 潔, 長谷川哲夫, 宮沢和彦, 海部宣男 (東京天文台野辺山)
- B 15 小型 22 GHz 帯 HEMT 受信機の開発: 岩下浩幸, 春日 隆, 川辺良平, 石黒正人 (東京天文台野辺山)
- B 16 43 GHz 帯低雑音 HEMT 増幅器: 大橋洋二, 石崎正之 (富士通), 春日 隆 (東京天文台野辺山)
- B 17 115 GHz 帯超伝導 (SIS) 受信器の開発: 小川英夫, 水野 亮, 石川秀蔵, 福井康雄, 河鱈公昭 (名大理)
- B 18 干渉計用二周波 SIS 受信機: 春日 隆, 半田一幸, 稲谷順司, 石黒正人, 岩下浩幸, 神沢富雄, 川辺良平, 宮沢敬輔, 村田泰弘, 坂本彰弘, 坪井昌人, 山地克俊<sup>1</sup>, 山本正之<sup>1</sup>, 渡沢恵一<sup>1</sup> (東京天文台野辺山, <sup>1</sup>住友重機)
- B 19 SIS 受信機用冷却 FET アンプの雑音測定: 半田一幸, 岩下浩幸, 神沢富雄, 宮沢敬輔 (東京天文台野辺山)
- B 20 電荷蓄積型赤外線検出方式の開発: 野田 学, 村上 浩, 秋葉 誠, 松本敏雄 (名大理)
- B 21 木曾シュミット望遠鏡による CCD 撮像: 湯谷正美, 青木 勉, 青木哲郎\*, 家 正則, 市川伸一, 岡田隆史, 岡村定矩, 沖田喜一, 征矢野隆夫, 樽沢賢一, 野口 猛, 浜部 勝, 山懸朋彦, 渡辺悦二 (東京天文台, \*東大理)
- B 22 SPIRAL の拡張——CCD 画像データの整約: 市川伸一 (東大理), 岡村定矩, 浜部 勝 (東京天文台), 青木哲郎 (東大理)
- B 23 写真星像内の強度分布経験式: 大脇直明 (東京学芸大), 根岸 潔 (都田無高)
- B 24 一次元赤外線スペックル干渉計の開発: 片埜宏一, 舞原俊憲 (京大理)
- 休 憩
- B 25 サンペドロマルティル天文台における天体スペックル観測: 野口本和, 磯部瑋三, 飯塚吉三 (東京天文台), 馬場直志 (北大工), M. Peimbert, A. Chelli, L. Carrasco (メキシコ国立天文台)
- B 26 30 cm 気球望遠鏡 BAT-2 号 (Ⅲ): 田中 済, 中田好一, 尾中 敬, 橋本 修 (東大理), 小平桂一, 中桐正夫, 田辺俊彦 (東京天文台), 矢島信之 (宇宙研)
- B 27 X線天文衛星「銀河」におけるバックグラウンドの特性について: 栗木久光, 田原 譲 (名大理)
- B 28 X線反射鏡の開発—VI: 田原 譲, 山内茂雄, 栗木久光, 対馬正晴 (名大理)
- B 29 X線反射鏡の開発—VII: 対馬正晴, 田原 譲, 紀伊恒男, 栗木久光, 山内茂雄, 長瀬文昭 (名大理)
- B 30 多層膜を用いた X線偏光子及び直入射鏡: 山下広順, 常深 博, 北本俊二, 廿日出 勇, 上野良弘 (阪大理)
- B 31 SOLAR-A 硬 X線望遠鏡の基本設計: 小杉健郎, 甲斐敬造, 中島 弘, 常田佐久 (東京天文台), 牧島一夫, 坂尾太郎 (東大理), 小川原嘉明, 村上敏夫, 堂谷忠靖 (宇宙研), 柴崎清登 (空電研)
- B 32 On the Behavior of Density Perturbations in a Five Dimensional Universe: 田 光江, 石原秀樹 (京大理)
- B 33 Non-linear sigma model from conformal invariance: 岡本 洋 (早大理工)

## 会場 A (二階大講堂)

A36 “力なし”ブラックホール磁気圏: 岡本 功 (緯度観)

## 第2日 10月20日(火) 午前9時より 会場 A

- A37 Weinberg-Salam 理論によるニュートリノエネルギー損失率の計算. I. これまでの計算結果との比較: 足立朋生, 中川政之, 神山泰治, 伊藤直紀 (上智大理工), 宗像弘春 (鶴見大)
- A38 Weinberg-Salam 理論によるニュートリノエネルギー損失率の計算. II. 全エネルギー損失率の温度密度依存性: 中川政之, 足立朋生, 神山泰治, 伊藤直紀 (上智大理工), 宗像弘春 (鶴見大)
- A39 高密度物質の相転移と SN 1987A からのニュートリノ放出: 高原まり子 (東工大), 佐藤勝彦 (東大理)
- A40 超新星 1987A からのニュートリノバーストと, 原始中性子星のニュートリノ放出: 鈴木英之, 佐藤勝彦 (東大理)
- A41 超新星 1987A の光度曲線のモデル: 茂山俊和<sup>1</sup>, 野本憲一<sup>1</sup>, 橋本正章<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東大教養, <sup>2</sup>マックスプランク天体物理研)
- A42 超新星 1987A から期待される X線,  $\gamma$ 線の強度変化: 熊谷紫麻見<sup>1</sup>, 伊藤真之<sup>2</sup>, 茂山俊和<sup>3</sup>, 野本憲一<sup>3</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>宇宙研, <sup>3</sup>東大教養)
- A43 SN 1987a からの高エネルギー  $\gamma$ 線: 山田良透, 中村卓史, 佐藤文隆 (京大理), 笠原克昌 (宇宙線研)
- A44 Jets in SN 1987A?: 中村卓史 (京大理), T. Piran (基研)
- A45 降着円盤内の流れについて (II): 川合 靖, 江里口良治 (東大教養)
- A46 降着円盤内縁の振動不安定 I: 加藤正二, 本間文雄, 松元亮治 (京大理)

## 第2日 10月20日(火) 午後1時より 会場 A

- A47 降着円盤内縁の振動不安定 II: 松元亮治, 加藤正二, 本間文雄 (京大理)
- A48 差動回転するディスクの線型不安定性: 関谷 実, 観山正見 (京大理)
- A49 差動回転するディスクの非線型不安定性: 観山正見, 関谷 実 (京大理)
- A50 恒星のまわりの excretion disk について: 尾崎洋二 (東大理)
- A51 回転星の安定性と降着星内での物質混合: 藤本正行 (新潟大教育)
- A52 「ぎんが」による恒星の X線観測: 鶴 剛, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 小山勝二, 高野史郎 (宇宙研), J. Swank (GSFC) ほかに「ぎんが」観測チーム
- A53 SS 433 の X線蝕の観測: 河合誠之, 松岡 勝 (理研), ほかに『ぎんが』グループ
- A54 X線パルサー Her X-1 の軟 X線超過スペクトルについて: 丑丸直子, 紀伊恒男, 長瀬文昭, 田原 譲 (名大理)
- A55 低質量 X線連星の非対称光度曲線: 福江 純 (大阪教育大)
- A56 『ぎんが』衛星による QPO の観測: 満田和久<sup>1</sup>, 堂谷忠靖<sup>1</sup>, 『ぎんが』チーム<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>宇宙研, <sup>2</sup>東大理他)
- A57 Cyg X-1 のカオス解析: 浦田健二 (東大理), 正木 功, 米山忠興 (東洋大), 近藤正明 (専修大), 海野和三郎 (近畿大)
- A58 「銀河」衛星による  $\gamma$ 線バーストの観測: 村上敏夫, 伊藤真之, 吉田篤正, 西村 純 (宇宙研)

## 休 憩

- A59 X線連星系の非定常振動のウィグナー分布による時間-周波数解析: 紀伊恒男, 田原 譲 (名大理)
- A60 定常対平衡プラズマの構造: 高原文郎 (東京天文台)
- A61  $e^+e^-$  の二温度ディスクへの影響: 楠瀬正昭 (東大理), 高原文郎 (東京天文台)
- A62 平行磁場をもつガス円板の重力不安定性: 中野武宣 (京大理)
- A63 等温ガス円盤の回転優勢平衡解 I: 成田真二 (同志社大), 木口勝義 (近畿大), 観山正見 (京大理), 林 忠四郎
- A64 回転する磁気雲の平衡解と進化 I: 富阪幸治, 池内 了 (東京天文台), 中村卓史 (京大理)
- A65 回転する磁気雲の自己重力による収縮 (II): 羽部朝男 (北大)
- A66 回転ガス雲の力学平衡形状と分裂の条件 I: 蜂巣 泉 (京大工), J. E. トーリン (LSU), 江里口良治 (東大教養)

## 会場 B (一階小講堂)

- B34 指数関数型ポテンシャルによる Power Law Inflation: 横山順一, 前田恵一 (東大理)  
 B35 インフレーションと長波長スカラー場の揺ぎ: 森川雅博, 中山圭二, 細谷暁夫 (阪大理)  
 B36 無衝突ガス, バリオン, 輻射共存系のゲージ不変な宇宙論的摂動: 杉山 直, 富田憲二, 佐々木 節 (広大理論研), 郷田直輝 (京大理)  
 B37 Electroweak anomaly レプトン非対称: 寺沢信雄, 佐藤勝彦 (東大理)

## 第 2 日 10 月 20 日 (火) 午前 9 時より 会場 B

- B38 3K 背景放射スペクトルのゆがみとコンプトン散乱モデル: 佐藤紳司 (宇宙研), 早川幸男, 松本敏雄, 松尾宏, 村上 浩 (名大理), A. E. Lange, P. L. Richards (U. C. Berkeley)  
 B39 爆発説による宇宙背景放射の黒体からの歪み: 吉岡 諭 (東京天文台・東大理), 池内 了 (東京天文台)  
 B40 第四世代のニュートリノに対する宇宙論的制限: 川崎雅裕, 佐藤勝彦 (東大理)  
 B41 バリオン優勢な宇宙での宇宙背景放射の非等方性: 郷田直輝 (京大理), 佐々木 節 (広大理論研), 須藤 靖 (カリフォルニア大)  
 B42 ゆらぎの成長の 2 次元無衝突シミュレーション: 藤原隆男 (京都市立芸大)  
 B43 2 成分 Pancake の分裂 I: 梅村雅之, 池内 了 (東京天文台)  
 B44 銀河の重力的集団化——熱力学的理論と数値計算との比較—II: 伊藤 誠, 稲垣省五 (京大理), W. C. Saslaw (ヴァージニア大)  
 B45 膨張宇宙における“三角測量”と時空の非一様性: 葛西真寿 (広大理論研)  
 B46 Black Hole 内部時空の波動関数: 南部保貞, 佐々木 節 (広大理論研)  
 B47 「ぎんが」による QSO の観測: 榎野文命, 井上 一 (宇宙研) 他ぎんがチーム  
 B48 「ぎんが」による BL-Lac 天体の観測: 大橋隆哉, 牧島一夫, 石田 学 (東大理), R. S. Warwick (レスター大), 「ぎんが」チーム (宇宙研, 東大理, 名大理, 阪大理, レスター大, ラザフォード=アップルトン研)

## 第 2 日 10 月 20 日 (火) 午後 1 時より 会場 B

- B49 矮小不規則銀河 IC 10 の CO 観測: 太田耕司, 佐々木 実, 斎藤 衛 (京大理)  
 B50 M83 の arm 領域の CO マッピング観測: 半田利弘, 中井直正 (NRO), 祖父江義明, 林 正彦 (東大理), 藤本光昭 (名大理)  
 B51 コンパクト電波源の VLBI 観測: 井上 允 (東京天文台野辺山), 加藤龍司, 田原博人 (宇都宮大教育), T. Venturi, C. Fanti (Institute di Radioastronomia, Bologna)  
 B52 NGC 1068 の非回転速度場: 佐藤哲也 (倶知安農高), 兼古 昇 (北大理), 渋谷 孝 (北大工), 西村雅樹 (SIRA), 外山清高 (HCS), 佐々木 実 (京大理)  
 B53 衝突銀河 NGC 3690 の近赤外測光分光観測: 芝井 広, 中川貴雄, 奥田治之 (宇宙研), 長田哲也 (ハワイ大), 松原英雄 (京大)  
 B54 Shell を持つ楕円銀河の表面測光: 佐々木 実 (京大理)  
 B55 CCD 撮像による原初銀河探査: 家 正則, 市川伸一, 岡村定矩 (東京天文台), 高遠徳尚 (東大理)  
 B56 Tololo 74 の高分散分光観測: 綾仁一哉 (東大理・東京天文台), 家 正則 (東京天文台・ESO)  
 B57 BLAZAR の偏波観測: 奥平敦也 (京大理), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (東京天文台野辺山)  
 B58 Hyd A の電波構造の観測: 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (東京天文台野辺山), 坪井昌人 (東大理)  
 B59 S520-8 CN/GUV による乙女座銀河団の紫外線観測 II: 尾中 敬, 田中 済 (東大理), 渡部潤一, 渡辺鉄哉, 中桐正夫, 山口朝三, 小平桂一 (東京天文台)  
 B60 「ぎんが」衛星による近傍銀河の観測: 牧島一夫, 大橋隆哉 (東大理), 高野史郎 (宇宙研) ほか「ぎんが」観測チーム

## 休 憩

- B61 II 型セイファートからの X 線スペクトル: 小山勝二, 近藤秀治, 田中靖郎 (宇宙研) 他ぎんがチーム  
 B62 Kerr Black Hole による偏光ベクトルの回転 (II): 高橋真聡, 富松 彰 (名大理)  
 B63 恒星円盤の大局不安定: 自己重力の効果: 穂積俊輔 (京大理)  
 B64 一次元重力多体系の緩和過程: 阪上雅昭 (京大基研), 郷田直輝 (京大理)  
 B65 速度空間における分布関数の変化: 西田実継 (神戸女子大), 穂積俊輔 (京大理)  
 B66 流体と電磁場の磁気流体波相互作用: 横沢正芳 (芸大理)  
 B67 銀河磁場のダイナモ理論 III. 大局解の一般的性質: 千葉証司, 土佐 誠 (東北大理)  
 B68 銀河磁場のダイナモ理論 IV. 渦状銀河 M31 及び M51 のモデル: 土佐 誠, 千葉証司 (東北大理)  
 B69 活動銀河中心核の進化と X 線背景放射: 森沢勝郎 (東大理), 高原文郎 (東京天文台)

## 会場 A (二階大講堂)

- A67 衝撃波面の揺らぎによるガス塊の形成: 木村俊哉, 土佐 誠 (東北大理)  
 A68 Kinematic Luminosity が時間変化する時の Bubble の運動: 加藤光也, 坂下志郎 (北大理)  
 A69 MHD ジェットにおけるヘリカル構造 I: 濱武久司<sup>1</sup>, 内田 豊<sup>1</sup>, 佐藤哲也<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>広大核融合理論研究センター)  
 A70 Wind Blown Bubble における粒子加速: 吉田龍生, 花見仁史, 坂下志郎 (北大理)  
 A71 Sgr-A NH<sub>3</sub> cloud (M-0.13-0.08) の微細構造 II: 奥村幸子<sup>1</sup>, 近田義広<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>3</sup>, E. B. Fomalont<sup>3</sup>, 森田耕一郎<sup>2</sup>, 春日 隆<sup>2</sup>, 神沢富雄<sup>2</sup>, 岩下浩幸<sup>2</sup>, 小林秀行<sup>3</sup>, 川辺良平<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>東京天文台野辺山, <sup>3</sup>NRAO)

## 第3日 10月21日(水) 午前9時より 会場 A

- A72 銀河中心五ツ子赤外天体の分光観測: 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄 (宇宙研), 松原英雄 (京大理), 小林行泰 (東京天文台), 長田哲也 (ハワイ大), T. Geballe (UKIRT)  
 A73 星間 CO 分子吸収線の赤外線分光観測: 中川貴雄 (東大理・宇宙研), 奥田治之, 芝井 広 (宇宙研), 松原英雄 (京大理・宇宙研), 小林行泰 (東京天文台), 長田哲也 (ハワイ大), T. Geballe (UKIRT)  
 A74 SGR-B2 領域に付随する非熱電波源: 赤羽賢司<sup>1</sup>, 祖父江義明<sup>2</sup>, 平林 久<sup>3</sup>, 森本雅樹<sup>2</sup>, 井上 允<sup>2</sup>. D. Downes<sup>3</sup> (<sup>1</sup>富山大理, <sup>2</sup>東京天文台野辺山, <sup>3</sup>IRAM)  
 A75 巨大な星生成領域 W 51 A に付随する分子雲コアの運動: 長谷川哲夫, 森田耕一郎 (東京天文台野辺山), 林正彦, 小林秀行 (東大理)  
 A76 W 51 A の水素再結合線 (H 66 $\alpha$ ) による開口合成観測: 森田耕一郎, 長谷川哲夫, 石黒正人, 春日 隆, 近田義広, 川辺良平, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一 (東京天文台野辺山), 小林秀行, 奥村幸子, 村田泰宏 (東大理)  
 A77 W 49 A 高密度コアの構造: 宮脇亮介<sup>1</sup>, 長谷川哲夫<sup>2</sup>, 林 正彦<sup>3</sup> (<sup>1</sup>八王子工高, <sup>2</sup>東京天文台野辺山, <sup>3</sup>東大理)  
 A78 T Tauri 型星の近赤外偏光サーベイ: 田村元秀, 金 七栄 (京大理), 佐藤修二 (東京天文台)

## 休 憩

- A79 NGC 6334-V の赤外偏光観測: 松原英雄 (京大理), 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄 (宇宙研), 長田哲也 (ハワイ大), 林 左絵子 (UKIRT), 佐藤修二 (東京天文台)  
 A80 Millimetre and Submillimetre Wavelength Observations of Highly Excited Gas in NGC 2023 and 2024 and Other Molecular Cloud Cores: Glenn J. White<sup>1,2</sup>, Carl Sanderson<sup>2</sup>, 林 左絵子<sup>3</sup>, 海部宣男<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京天文台野辺山, <sup>2</sup>Queen Mary College, London, <sup>3</sup>James Clerk Maxwell Telescope, Hawaii)  
 A81 TMC 1 における高励起回転遷移の観測: 鈴木博子, 海部宣男, 大石雅寿, 石川晋一, 稲谷順司, 坪井昌人 (東京天文台野辺山)  
 A82 T TAU の CS 輝線観測: 周藤浩士, 田村元秀 (京大理), 山下卓也, 鈴木博子, 海部宣男 (東京天文台野辺山)  
 A83 Herbig Be 型星を持つ暗黒星雲 L 1517: 佐藤文男 (東京学芸大), 福井康雄 (名大理)  
 A84 M 17 の遠赤外ダストコンティニュームの分光観測: 高見英樹 (東京天文台), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), 奥田治之, 芝井 広, 中川貴雄, 松原英雄 (宇宙研)  
 A85 星生成領域 G 10.6-0.4 に付随する分子雲の観測: 面高俊宏 (鹿児島大), 林 正彦 (東大理), 海部宣男 (東京天文台野辺山), 仲野 誠 (大分大), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)  
 A86 OMC 1 ridge NH<sub>3</sub> 輝線高分解能観測: 村田泰宏<sup>2</sup>, 川辺良平<sup>1</sup>, 石黒正人<sup>1</sup>, 奥村幸子<sup>2</sup>, 春日 隆<sup>1</sup>, 鷹野敏明<sup>3</sup>, 長谷川哲夫<sup>1</sup>, 森田耕一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>名大空電研)  
 A87 1 ミリ波帯における分子雲コアの観測: 松尾 宏, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩 (名大理), 井上 允, 浮田信治, 田中培生 (東京天文台野辺山)  
 A88 NGC 7538 領域の H<sub>2</sub>O メーザー源: 亀谷 収, 森田耕一郎, 川辺良平, 小林秀行<sup>1</sup>, 春日 隆, 近田義広, 石黒正人 (東京天文台野辺山, <sup>1</sup>東大理)

## 第3日 10月21日(水) 午後1時より 会場 A

- A89 CH<sub>3</sub>OH メーザーの unbiased survey: 大石雅寿, 森本雅樹, 浮田信治 (東京天文台野辺山), 趙 世衡 (韓国, DRO)  
 A90 S 255/S 257 分子雲の CS (J=1-0, 2-1) 観測: 平野尚美<sup>1</sup>, 亀谷 収<sup>2</sup>, 高窪啓弥<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大理, <sup>2</sup>東京天文台野辺山)  
 A91 L 1641 における PMS star の近赤外測光: 大島紀夫, 磯部秀三 (東京天文台), 石原康秀 (東京学芸大)  
 A92 高柱密度グロービュール Barnard 1 の分子輝線観測: 中山正敏<sup>1</sup>, 亀谷 収<sup>2</sup>, 平野尚美<sup>1</sup>, 梅本智文<sup>1</sup>, 高窪啓弥<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大理, <sup>2</sup>東京天文台野辺山)

## 会場 B (一階小講堂)

- B70 球対称高速度流の輻射流体力学と輻射粘性: 森田一彦, 兼古 昇 (北大理)  
 B71 星間雲のフラクタル分布: 野桜俊也 (北大理)  
 B72 原始銀河の進化 I. 準静的収縮モデル: 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)  
 B73 銀河中心核における星生成バースト: 高澤 豊 (東京天文台・東大理), 池内 了 (東京天文台)

## 第3日 10月21日(水) 午前9時より 会場 B

- B74 ヒルの問題におけるジークルの解法: 渡辺憲昭 (千葉商大)  
 B75 微分回転する抵抗媒質中のケプラー運動: 堀 源一郎 (東大理)  
 B76 カークウッドギャップの成因について: 吉川 真 (東大理・東京天文台)  
 B77 惑星暦 (VSOP 82) の座標系と基本座標系の関係 (III): 新美幸夫 (東京天文台)  
 B78 子午環の絶対方位の決定と大域的整約法: 吉沢正則, 鈴木駿策 (東京天文台)  
 B79 相対論的座標系の定義と時系: 藤本真克 (東京天文台)  
 B80 年周極運動の振幅と位相の周期的変動: 若生康二郎, 石川利昭 (緯度観)

## 休 憩

- B81 IRIS-P VLBI 網による地球回転観測: 真鍋盛二, 横山紘一 (緯度観), 吉野泰造, 高橋幸雄 (電波研)  
 B82 火星白雲の三つのタイプ: 鳴海泰典 (九州東海大), 赤羽徳英 (京大飛騨天文台), 岩崎恭輔, 斎藤良一 (京大花山天文台)  
 B83 気球望遠鏡による木星の遠赤外分光観測: 水谷耕平, 舞原俊憲, 松原英雄 (京大理), 奥田治之, 芝井 広 (宇宙研), 中川貴雄 (東大理), 高見英樹 (東京天文台), 広本宣久 (電波研), J. A. Thomas, R. K. Sood (ニューサウスウェールズ大)  
 B84 冥王星とカロン相互食の測光およびスペックル観測: 磯部瑠三, 野口本和, 飯塚吉三 (東京天文台), 馬場直志 (北大工), Manual Alvarez (UNAM)  
 B85 小惑星表面の Rough Surface による光散乱: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)  
 B86 Cometary Silicate について: 向井 正, 向井苑生 (金沢工大)  
 B87 ハレー彗星のコマについて: 香西洋樹 (東京天文台)  
 B88 ハレー彗星のジェットによるイオンの尾の形成: 渡部潤一, 田鍋浩義, 古川麒一郎, 青木 勉 (東京天文台), 斎藤尚生 (東北大)  
 B89 彗星ジェット間相互作用による衝撃波形成: 北村良実 (東京天文台野辺山)

## 第3日 10月21日(水) 午後1時より 会場 B

- B90 彗星のプラズマ尾に対する太陽磁気圏の作用: 大木俊夫 (元・福島大教育), 富田弘一郎 (AES), 斎藤馨児 (法政大), 小島正宜 (名大空電研), 南 繁行 (大阪市大), 古川麒一郎 (東京天文台), 斎藤尚生 (東北大理)  
 B91 彗星の質量スペクトルについて: 小笹隆司 (京大理), 山本哲生 (宇宙研)  
 B92 太陽内部の音速分布: 関井 隆, 柴橋博資 (東大理)  
 B93 Solar-A 衛星による太陽振動観測の可能性: 桜井 隆, 西川 淳, 常田佐久, 渡辺鉄哉, 平山 淳 (東京天文台), 柴橋博資, 関井 隆, 尾崎洋二 (東大理)  
 B94 ミリ波における太陽極域増光のモデル: 柴崎清登 (空電研), 石黒正人, 小杉健郎 (東京天文台)

## 会場 A (二階大講堂)

- A93 暗黒星雲の近赤外線源の研究 III: 金 七栄, 市川 隆, 佐藤修二 (京大理)
- A94 HH 7-11 分子流による周囲分子雲の空洞: 鷹野敏明 (名大空電研), G. Sandell (Univ. Helsinki; JCMT)
- A95 磁場に垂直な双極分子流天体 L1641-south 2: 岩田隆浩, 福井康雄, 水野 亮 (名大理), 高羽 浩 (電波研)
- A96 分子流を伴う「低温」IRAS 点源の二成分モデル: 福井康雄, 大橋永芳 (名大理)
- A97 極度に収束した双極分子流 IC 1396-north: 大橋永芳, 水野 亮, 岩田隆浩, 福井康雄 (名大理), 杉谷光司 (名市大)
- A98  $\rho$  Oph ストリーマーの回転とその成因: 内田 豊<sup>1</sup>, 水野 亮<sup>2</sup>, 福井康雄<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>名大理)
- 休 憩
- A99  $\rho$  Oph-east の歳差ジェットモデル: 水野 亮, 福井康雄 (名大理)
- A100 L 1204 の双極流天体: 杉谷光司 (名市大), 福井康雄, 水野 亮, 岩田隆浩 (名大理)
- A101 双極流天体 NGC 2071 IRS の NH<sub>3</sub> ディスクの発見: 川辺良平, 森田耕一郎, 春日 隆, 石黒正人, 近田義広, 半田一幸, 岩下浩幸, 神沢富雄, 奥村幸子<sup>1</sup>, 小林秀行<sup>1</sup>, 高橋敏一, 村田泰宏<sup>1</sup>, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山, <sup>1</sup>東大理), 鷹野敏明 (名大空電研)
- A102 “Large Globule” L 810 の分子輝線観測: 梅本智文<sup>1</sup>, 亀谷 収<sup>2</sup>, 中山正敏<sup>1</sup>, 平野尚美<sup>1</sup>, 高窪啓弥<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大大理, <sup>2</sup>東京天文台野辺山)
- A103 G 109.1-1.0 に付随する 2 本の分子雲フィラメント: 立松健一, 福井康雄, 岩田隆浩 (名大理), 仲野 誠 (大分大教育)
- A104 星間水素分子の励起——ショックか蛍光か——: 田中培生, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山), 林 左絵子 (JCMT), Ian Gatley (NOAO), Peter Brand (UE)
- A105 放射性元素 <sup>26</sup>Al と星間雲の進化: 梅林豊治 (山形大理)
- A106 惑星状星雲 M 1-1 の高分散分光観測: 柴田克典 (東北大大理)
- A107 振動励起状態にある C<sub>2</sub>H ラジカルの実験室マイクロ波分光と IRC+10216 での検出: 山本 智, 斎藤修二 (名大理), M. Guélin, J. Cernicharo (IRAM), 鈴木博子, 大石雅寿 (東京天文台野辺山)
- A108 りんを含む新しい分子, CP ラジカル of the マイクロ波スペクトル: 斎藤修二, 山本 智 (名大理), 川口建太郎 (分子研), 大石雅寿, 鈴木博子, 海部宣男 (東京天文台野辺山)

## ポスターセッション

- P 1 AT チップを用いた太陽電波干渉計の相関器: 西尾正則 (空電研), 小林勝司 (名大工)
- P 2 3.3m パラボラアンテナによる電波天文基礎実験: 藤下光身, 佐藤克久, 鶴田誠逸, 田村良明, 佐藤弘一 (緯度観)
- P 3 VSOP——スペース VLBI の提案: スペース VLBI ワーキンググループ (代表 西村敏充; 宇宙研・東京天文台野辺山・電波研)
- P 4 地球回転・基準座標系用 VLBI 計画 (VERA) のハードウェアシステムについて: 原 忠徳, 藤下光身, 佐藤克久, 久慈清助, 堀合幸次, 石川利昭, 佐藤弘一, 鶴田誠一, 浅利一善, 角田忠一, 笹尾哲夫 (緯度観)
- P 5 NRO のミリ波 VLBI: 平林 久, 森本雅樹, 井上 允, 宮地竹史, 御子柴 廣, 岩下浩幸 (東京天文台野辺山)
- P 6 仙台におけるサブミリ波大気透過率の測定 (I) 装置: 柴田行男, 柳 和雄 (東北大科研)
- P 7 105 cm シュミット望遠鏡の制御系の改修: 青木 勉, 野口 猛, 征矢野隆夫, 樽沢賢一, 前原英夫, 石田蕙一
- P 8 Ritchey-Chrétien 望遠鏡の試作. V. ハルトマン・テスト: 大谷 浩, 上杉 明, 富田良雄, 辻村民之 (京大理)
- P 9 非均質惑星大気中の三次散乱による透過関数: 川端 潔 (東理大理)
- P10 スケッチによるハレー彗星核近傍現象の観測: 小林寿郎 (熊本県民天文台), 渡部潤一 (東京天文台)
- P11 S 106 の 2  $\mu$ m H<sub>2</sub> 観測——励起と分布: 林 左絵子<sup>1</sup>, 長谷川哲夫<sup>2</sup>, 田中培生<sup>2</sup>, I. Gatley<sup>3</sup>, P. Brand<sup>4</sup>, I. McLean<sup>5</sup> (<sup>1</sup>JCMT, <sup>2</sup>東京天文台野辺山, <sup>3</sup>NOAO, <sup>4</sup>Univ. of Edinburgh, <sup>5</sup>UKIRT)



## 会場 B (一階小講堂)

- B95 吸収線でみた粒状斑速度場の立体構造: 一本 潔, 中込慶光, 日江井栄二郎 (東京天文台)  
 B96 活動経度と黒点活動: 秋岡真樹 (京大理), 久保田 諄 (京大花山天文台), 鈴木美好 (川越高), 一本 潔 (東京天文台), 當村一朗 (京大飛驒天文台)  
 B97 Roundish Compact Flare について: 黒河宏企 (京大飛驒天文台)  
 B98 Hot Thermal Flare の電波・X線同時観測: 中島 弘, 大木健一郎 (東京天文台), 高倉達雄, 西尾正則 (空電研)

## 休 憩

- B99 太陽フレア非熱的電子のスペクトル: 甲斐敬造 (東京天文台), B. R. Dennis (NASA)  
 B100 浮上磁気ループによるフレアの発生: 高倉達雄  
 B101 活動領域における明るさと磁場の強さの相関について: 川上新吾 (京大理), 牧田 貢 (東京天文台)  
 B102 静穏紅炎における Ly $\alpha$  と LyC の強度比 (II): 當村一朗 (京大飛驒天文台)  
 B103 プロミネンスの崩壊現象: 川口市郎 (大阪学院短大)  
 B104 活動領域フィラメントの速度場: 花岡庸一郎, 黒河宏企 (京大飛驒天文台)  
 B105 ミリ波太陽観測とフィラメント消失: 亘 慎一, 丸橋克英, 富田二三彦, 磯部 武, 大部弘次, 磯崎 進 (電波研平磯)  
 B106 波長8センチ電波輝度と太陽風速度との相関: 鰐目信三 (名大空電研)  
 B107 IPS の観測した 0.1 AU 以遠での太陽風加速: 小島正宜, 柿沼隆清 (名大空電研)

## (一階ロビー)

- P12 Detection of OH Maser Emission at 1667 MHz from IC 4997: 田村眞一, 柴田克典 (東北大理), I. Kazes (パリ天文台)  
 P13 「ぎんが」によるX線パルサーの観測: 坂尾太郎, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 井上 一, 小山勝二, 堂谷忠靖, 満田和久, 篠田浩一, 竹島敏明 (宇宙研) ほか「ぎんが」観測チーム  
 P14 Accretion-Disk-Instability Model for Outbursts of FU Orionis: 花見仁史, 坂下志郎 (北大理)  
 P15 銀河中心方向の近赤外線源の観測: 長田哲也 (ハワイ大), A. R. Hyland, S. Straw (MSSSO), 佐藤修二, 川良公明 (東京天文台)  
 P16 Arc Structure Associated with the Star-Burst Galaxy Markarian 717: 谷口義明<sup>1</sup>, 市川伸一<sup>2</sup>, 浜部 勝<sup>1</sup>, 山縣朋彦<sup>1</sup>, 家 正則<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京天文台, <sup>2</sup>東大理)  
 P17 銀河の垂直ダークレーン: 祖父江義明 (東大理), 若松謙一 (岐阜大工), D. F. Malin (シドニー大)  
 P18 セイファート銀河 NGC 1068 の CO 観測: 兼古 昇, 森田一彦 (北大理), 福井康雄, 杉谷光司, 岩田隆浩 (名大理), 中井直正, 海部宣男 (東京天文台野辺山), Harvey S. Liszt (NRAO)  
 P19 海蛇座第一銀河団の表面測光: 濱部 勝 (東京天文台)  
 P20 インフレーション宇宙とスカラー場: 石原秀樹, 佐藤文隆 (京大理), 二間瀬敏史 (ワシントン大)  
 P21 福島県の小学校児童の天文・宇宙に関する意識調査: 富脇久尚 (福島県善郷小), 大木俊夫 (元・福島大教育)